

CUCME 構成に関するベスト プラクティス

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[特定のシナリオのベストプラクティス](#)

[転送パターンの設定チェック](#)

[症状：](#)

[設定チェック：](#)

[推奨処置：](#)

[マルチキャスト ページング](#)

[症状：](#)

[設定チェック：](#)

[推奨処置：](#)

[CUCME マルチキャスト保留音 \(MOH \)](#)

[症状：](#)

[設定チェック：](#)

[推奨処置：](#)

[CUCME ハードウェア会議](#)

[症状：](#)

[設定チェック：](#)

[推奨処置：](#)

[Olson タイムゾーン ファイルのチェック](#)

[症状：](#)

[設定チェック：](#)

[推奨処置：](#)

[エンドユーザライセンス契約 \(EULA \) のチェック](#)

[症状：](#)

[設定チェック：](#)

[推奨処置：](#)

[SIP トランク - 転送](#)

[症状：](#)

[設定チェック：](#)

[推奨処置：](#)

[GUI アクセス](#)

[症状：](#)

[設定チェック：](#)

[推奨処置：](#)

[CUCME 基本自動着信呼分配と自動応答サービス \(B-ACD \) の保留音](#)

[症状：](#)

[設定チェック：](#)

[推奨処置：](#)

[SIP/SCCP 電話のタイムゾーン設定](#)

[症状：](#)

[設定チェック：](#)

[推奨処置：](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unified Communication Manager Express (CUCME) のベストプラクティスのルールを示します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unified Communications Manager Express (CUCME)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づいています。

- CUCME 7.X 以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

特定のシナリオのベストプラクティス

転送パターンの設定チェック

症状：

CUCME に登録された IP フォンから外線番号にコールを転送できません。

設定チェック：

telephony-service コマンド モードで transfer-pattern コマンドが存在するかどうかチェックします。

```
telephony-service
transfer-pattern [\.\0-9T]+
```

推奨処置：

次のドキュメントを確認してください。

http://www.cisco.com/en/US/partner/docs/voice_ip_comm/cucme/admin/configuration/guide/cmetrans.html#wp1167239

http://www.cisco.com/en/US/partner/docs/voice_ip_comm/cucme/command/reference/cme_t1html.html#wp1018955

設定を変更します。

コールが転送されるように、**transfer-pattern** コマンドを追加または変更します。

例 1：すべての番号への転送を許可します。

```
telephony-service
transfer-pattern .T
```

例 2：ローカル番号のみへの転送を許可します。ここで、ローカル番号は、919 の市外局番を持つ 10 桁の番号です。

```
telephony-service
transfer-pattern 919.....
```

マルチキャスト ページング

症状：

ユニキャスト ページング グループのメンバーの総数が 10 を超えた場合、ページング グループの一部のメンバーがページング コールを受信しないことがあります。

設定チェック：

定義されている ephone のいずれかで **paging-dn** コマンドが設定されているかどうかを確認します。

```
ephone [0-9]+
  mac-address[0-9ABCDEF\.*]
  type.*
  button.*
  paging-dn [0-9]*
```

上記の手順で見つかった **paging-dn** については、**paging ip[.\\.]** コマンドを探してください。これにより、マルチキャストまたはユニキャストのどちらのページング用に定義されているかが示されます。見つからない場合は、ユニキャストです。

推奨処置：

paging dn がマルチキャスト用に定義されていない場合、グループには 10 メンバーのみを含めることができます。10 を超えるグループの場合は、**paging ip** コマンドを追加して、**paging dn** をマルチキャスト用に再設定します。

例 1

```
ephone-dn 1
number 3001
paging ip 239.1.1.1 port 2000
```

詳細については、次のドキュメントを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/partner/docs/voice_ip_comm/cucme/admin/configuration/guide/cmepage.html

http://www.cisco.com/en/US/partner/docs/voice_ip_comm/cucme/command/reference/cme_p1html#wp1047557

CUCME マルチキャスト保留音 (MOH)

症状 :

内部コール (つまり、同じ CUCME に登録された IP フォンの間のコール) が保留状態になると、MOH を受信せず、定期的なトーンが聞こえます。

設定チェック :

telephony-service で `multicast moh` コマンドをチェックします。

```
telephony-service
multicast moh [.\.]+
```

推奨処置 :

内部 IP フォンの間のコールが MoH を受信するためには、マルチキャスト MoH を有効にする必要があります。設定されていない場合は、`multicast moh` コマンドを使用して有効にします。また CUCME がルータで実行されていることを確認します。

詳細については、次のドキュメントを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/partner/docs/voice_ip_comm/cucme/admin/configuration/guide/cmemo.html

CUCME ハードウェア会議

症状 :

CUCME に登録された IP フォンが、3 パーティを超える電話会議を作成できません。

設定チェック :

telephony-service で `conference hardware` コマンドが設定されているかどうかを確認します。

```
telephony-service
conference hardware
```

voice-card サブコマンド モードで dsp service dspfarm が設定されていることを確認します。

```
voice-card $tag1
dsp service dspfarm
```

dspfarm conference profile が no shutdown 状態であり、associate application SCCP が設定されていることを確認します。

```
dspfarm profile $tag2 conference
associate application SCCP
no shutdown
```

dspfarm profile の \$tag が CME に定義された sccp ccm group に関連付けられていることを確認します。

```
sccp ccm group $tag3
associate profile $tag2 register $name
```

telephony-service で正しい sccp ccm group \$tag3 が定義されていることを確認します。

```
telephony-service
sdspfarm tag $tag4 $name
```

ephone-dn が conference ad-hoc または conference meetme オプションを指定して設定され、有効な number があることを確認します。

```
ephone-dn $tag
number [0-9ABCDEF]*
conference ad-hoc
```

```
ephone-dn $tag
number [0-9ABCDEF]*
conference meetme
```

推奨処置：

設定が正しいことを確認します。会議リソースが使用可能であり、登録された状態であることを確認します。show sccp コマンドを実行して、状態を判別します。

詳細については、次のドキュメントを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/admin/configuration/guide/cmeconf.html

Olson タイムゾーン ファイルのチェック

症状：

Olson タイムゾーン機能により、ユーザは新しい tzupdater.jar ファイルと TzDataCSV.csv ファイルをアップロードして、IP フォンに使用できるタイムゾーンを更新できます。ファイルをダウンロードして使用するには、電話の TFTP 経由でファイルにアクセスする必要があります。この方法では、ファイルの更新のみが必要で、新しい CUCME リリースは不要であるため、タイムゾーンの変更を CUCME により迅速に組み込むことができます。

設定チェック :

Olsen タイムゾーン機能が CUCME Session Initiation Protocol (SIP) または Skinny Client Control Protocol (SCCP) で使用されているかどうかを確認します。 `olsontimezone` コマンドを探します。

```
telephony-service
  olsontimezone $timezone version $version
```

```
voice register global
  olsontimezone $timezone version $version
```

機能で使用される 2 つのファイルの `tftp-server` コマンドを確認します。

```
tftp-server flash:tzupdater.jar
tftp-server flash:TzDataCSV.csv
```

推奨処置 :

`olsontimezone` コマンドが設定されていない場合、ファイルは不要です。機能が使用中であるか、またはタイムゾーンへの最近の変更や DST への変更のために設定する必要がある場合は、機能を設定し、ダウンロードする電話にファイルを使用できることを確認します。

詳細については、次のドキュメントを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/admin/configuration/guide/cmenetwk.html#wpmkr1070767

エンドユーザライセンス契約 (EULA) のチェック

症状 :

CUCME または CUCME-as-SRST (Survivable Remote Site Telephony) が第 2 世代サービス統合型ルータ (ISR-G2) に設定されていても、EULA (エンドユーザライセンス契約) に同意していない場合、ルータに IP フォンを登録できません。

設定チェック :

`cme-srst` ライセンスの EULA のステータスを確認します。 `show license detail cme-srst` の出力を調べ、**License State**:セクションの「EULA not accepted」を確認します。

```
Router#sh license detail cme-srst
Feature: cme-srst Period left: 8 weeks 4 days
Index: 1 Feature: cme-srst Version: 1.0
License Type: EvalRightToUse
License State: Not in Use, EULA not accepted
Evaluation total period: 8 weeks 4 days
Evaluation period left: 8 weeks 4 days
Period used: 0 minute 0 second
License Count: 0/0 (In-use/Violation)
License Priority: None
Store Index: 7
```

Store Name: Built-In License Storage

推奨処置：

license accept end user agreement コマンドを実行して、EULA に同意します。

詳細については、次のドキュメントを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/sw_activation/SA_on_ISR.html#wp1155517

SIP トランク - 転送

症状：

SIP トランク プロバイダーから CUCME への着信コールが SIP トランク全体の別の宛先に転送される場合、コール転送が成功しないことがあります。

設定チェック：

voice service voip で REFER および通話転送補足サービスが無効になっているかどうかを確認します。

```
voice service voip
  no supplementary-service sip moved-temporarily
  no supplementary-service sip refer
```

推奨処置：

ほとんどのサービス プロバイダーは、コールの転送に SIP REFER または 302 Moved Temporarily をサポートしていません。CUCME では補足サービスを実行することが推奨されます。両方が無効になっていることを確認します。

```
voice service voip
  no supplementary-service sip moved-temporarily
  no supplementary-service sip refer
```

詳細については、次のドキュメントを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps4625/products_configuration_example09186a00808f9666.shtml

GUI アクセス

症状：

ユーザが CUCME GUI にアクセスできないか、またはページが完全にロードされません。

設定チェック：

telephony-service でシステム管理者または顧客管理者の GUI アクセスが有効になっていることを、show run | sec web admin system name または show run | sec web admin customer name

```
telephony-service
web admin system name cmesystemadmin secret 0 P@55w0Rd
web admin customer name CMEuser password hussain123
```

show run で次のコマンドをチェックして、HTTP サーバが有効になっていることを確認します。次の中カッコ{...}のパラメータは任意に指定できますが、例に示すパラメータは最も一般的なものであり、チェックでは考慮しないでください。

```
ip http server
ip http authentication {local}
ip http path {flash:}
```

show flash: | include .htmlと、リストされているhtmlファイルが存在することを確認します。

```
Router#sh flash: | i .html
45 3987 Aug 21 2012 11:32:54 admin_user.html
52 6146 Aug 21 2012 11:33:08 ephone_admin.html
54 3866 Aug 21 2012 11:33:08 normal_user.html
59 2431 Aug 21 2012 11:33:12 telephony_service.html
61 9968 Aug 21 2012 11:33:14 xml-test.html
```

推奨処置：

すべての GUI 関連のコマンドが設定され、ファイルがフラッシュで利用可能であることを確認します。

詳細については、次のドキュメントを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/admin/configuration/guide/cmegui.html

CUCME 基本自動着信呼分配と自動応答サービス (B-ACD) の保留音

症状：

CUCME ルータのフラッシュに B-ACD 保留音ファイル en_bacd_music_on_hold.au がない場合、キュー内の発信者には、エージェントが使用可能になるのを待機している間何も聞こえません。

設定チェック：

BACD サービスは、MOH についてデフォルトの moh ファイル名 en_bacd_music_on_hold.au を使用します。ファイルがフラッシュにあり、正しいファイル名であることを確認します。

```
show flash: | sec "en_bacd_music_on_hold.au"
```

推奨処置：

ファイルがフラッシュにない場合は、cisco.com からダウンロードします。ファイルは BACD zip ファイル (<http://tools.cisco.com/squish/E8220>) にありますが、個別にダウンロードすることもできます。

ファイル名が正しいことを確認します。en_bacd_music_on_hold.au である必要があります。

カスタム MOH ファイルである場合は、正しく作成されていることを確認します。8ビット、mu-law、8 kHzの符号化を使用したG.711オーディオファイル(.au)形式である必要があります。

詳細については、次のドキュメントを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/bacd/configuration/guide/40bacd.html

SIP/SCCP 電話のタイムゾーン設定

症状：

Cisco Unified Communications Manager Express (CUCME) に「timezone」および「olsontimezone」コマンドが設定されていない場合、登録されている SIP/SCCP IP フォンに正しい時刻が表示されないことがあります。また、サマータイムの変更に対応しない可能性があります。

設定チェック：

SIP 電話の場合は、**timezone** または **olsontimezone** コマンドを **voice register global** でチェックします。

```
voice register global
  olsontimezone $timezone version $version
```

または

```
voice register global
  timezone [1-56]
```

SCCP 電話の場合は、**time-zone** または **olsontimezone** コマンドを **telephony-service** でチェックします。

```
telephony-service
  olsontimezone $timezone version $version
```

または

```
telephony-service
  time-zone [1-56]
```

推奨処置：

必要なコマンドを **voice register global** または **telephony-service** で設定し、適切な値を割り当てます。CUCME システムの設定ガイドを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/admin/configuration/guide/cmestm.html

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/admin/configuration/guide/cmenetwk.html